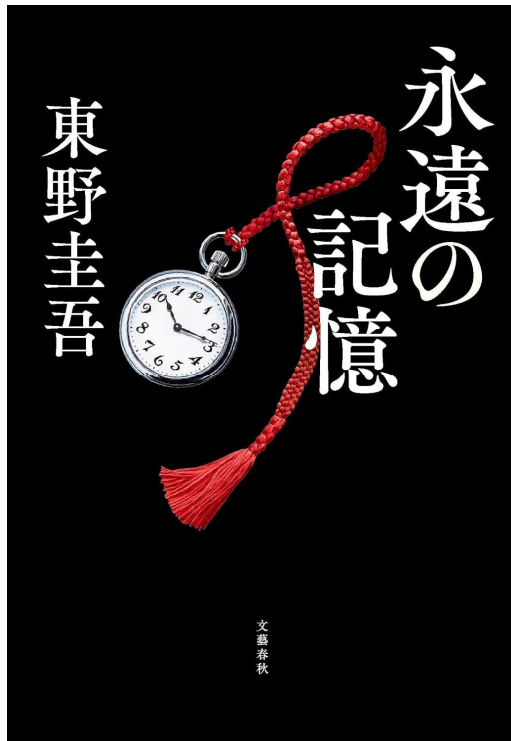


NEW BOOKS

今予約No.1
話題作！

内海薫が刺された。
彼女が迫った「究極の
選択」とは一体。
一方、湯川と草薙は、
老人の“ある持ち物”
を手掛かりに、「忘れ
てはいけない謎」の扉
を開く。
最後の謎が、いま明か
される。



鷹 永遠の記憶
東野圭吾／著 文藝春秋

待望の
ガリレオ
長編最新作

合川図書室
展示「追悼 東野
圭吾さん」
(10月30日まで
開催中)

芥川賞

直木賞

第175回
芥川賞候補作



ゾンビ回収婦
小砂川 ちと／著
講談社

鷹 森 合

一気に読み必至の
圧倒的虚構世界
〈リアルライフ〉



けんぐわい
朝倉 かすみ／著
光文社

鷹 森 合

女の心の澱を描く
新しい時代小説



ソリティアおじさんがいた頃
村司 侑／著
文藝春秋

阿

軽快な京都弁で語る
決断と成長の物語

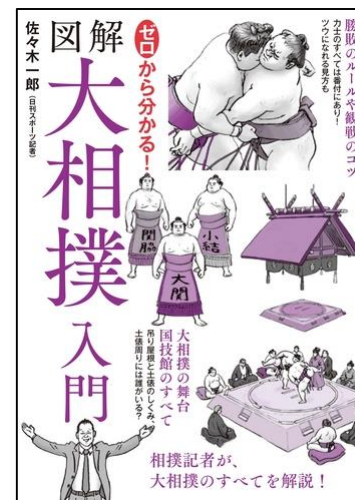


刑事総務課は眠らない
矢樹 純／著
文藝春秋

森

不眠症×短眠者
異色の男女バディ

RECOMMENDED BOOKS



合 ゼロから分かる! 図解大相撲入門
佐々木 一郎／著 世界文化社

鷹・森休館 ○ 鷹休館 □ 森休館

9月						
日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30			

鷹 鷹巣図書館

電話 0186-62-1707
開館時間 9:00～19:00
(土日祝9:00～17:00)

合 川公民館図書室

電話 0186-78-2114
開館時間 8:30～19:00

鷹巣図書館からのお知らせ

一般書6類奥(非常口前)が雨漏りのため、天井の一部が落ちています。漏電の恐れがあるため、一部電気を消して開館しております。立ち入り禁止区画または暗いところの本をお探しの際は、お気軽に職員までお声がけください。
みなさまにはご不便お掛けして申し訳ありません。
復旧まで今しばらくよろしくお願いいたします。



大相撲秋場所がはじまります！

9月13日から始まる、大相撲秋場所。
ルールがよく分からない…見所はどこ？
人気相撲記者・佐々木一郎が、ルールや観戦のコツ
はもちろん、力士や親方の日常、行司・呼出・床山の
仕事まで…大相撲の魅力をまるっとお届け！
これ1冊読めば、千秋楽までまだ間に合います。一緒
に楽しみましょう！

おはなし会のお知らせ

【おはなしでてこいに】

9/6(日) 11:00(鷹巣図書館幼児コーナー)

【おはなしぱれっと】

9/12(土) 14:00(森吉図書館)

【おはなしでてこい】

9/19(土) 14:00(文化会館1F会議室)

【おはなし会ちょこっと】

9/26(土) 14:00(合川公民館)

本の検索・予約ができる！

蔵書検索



ぶっくまぐん

明るい女子高生・アコ × 雨の日に猫を助けるヤンキー・ユウ
王道青春小説！

木立花音先生
最新短編小説

プロの小説家に学ぶ！「小説教室」
短編小説全文はこちらから読めます→



雨の日に、さよならを歌った。
もう「ふたりのままではいけない」から

花「アコとユウ」

猫カフェ「にゃんにゃんランド」の店内はざわついていた。
（わあ・・・すごいねえ、あの二人）
そこには、やけに目を引く二人組の姿があった。
「お、おまえらっ、こっちに来るな！」
「わあー！ かわいいです！ ユウくんも猫さんも！」
三匹の猫が自身の体によじ登り、困惑する青年。肩にかかるほどの長髪で、鋭いキレ長の目。グレーのパーカーをばおり、首元にはゴツゴツのシルバーのアクセサリーが光る。その風貌は、世間一般でいわれるところの「ヤンキー」のようであった。そして、その姿を「かわいい」と連呼しながらスマホで撮りまくる女子高生。垂れ目で瞳は大きく、ふわりとしたショートボブが揺れる。
「写真、あとで一緒に見ましようね！」
「別にいいっての・・・ってうわあ」
猫の肉球がユウの首元に触れ、思わず間の抜けた声が出る。
「ユウくんそのネックレスが気になるんじゃないですか」
首もとに下げたそれに猫たちは興味津々のようだ。

1

文庫ページメーカー（フォント：源咲こぶり明朝）

木立花音「ふたりのままではいけない」

肩に食い込むギターケースの重さを感じながら、スタジオの前に立っていた。ギターを背負うのは久しぶりで、背中に当たる硬い感触が、昔のライブの記憶を静かに呼び起こす。
季節は六月で、雨の降る日が続いていた。週の半ばから降り始めた雨は、土曜日の今日もまだ降っていて、街中が雨の匂いで満たされていた。
傘を閉じ、レンタルライブスタジオの軒下に移動する。
約束の時間から少し遅れて、玲子がやってくる。手には大きな引越用のバッグを持っている。取っ手の部分が少しほつれていて、そこに彼女の生活の重さが滲んでいるみたいだ。
「……久しぶり」
玲子がそう言って、ぎこちなく笑う。
最後に会ったのは、バンドを解散すると決めた日のことだ。
あの日、私たちは恋人であることもやめた。
音楽を続けたい私と、普通の生活を選びたい彼女。未来が重ならないと悟ってから、二人の関係は静かにほどこけていった。

1

文庫ページメーカー（フォント：源咲こぶり明朝）

「アナタみたいないいひとは、空の神様がほおっておきません」
「あ～もう！ 次にまた虹が出たら言ってやるよ！」

ときめくセリフ満載！

アコとユウの二人の関係の変化にキュンときめくこと間違いなし
雨上がりのハートフル青春小説。

音楽デビューの夢を断念し、別々の道を選ぶことになった
かつての恋人であり音楽パートナーの玲子と雛。

ガラス張りのスタジオで、ふたりは雨音の中
ひとつの曲を響かせる。

夢追いし者の葛藤を溶かした、
百合×音楽小説